

# 道

第34号 R8.6.9

## 六月定例議会終了

六月一日より四日まで開催されました。今回は令和八年度補正予算と任期満了に伴う教育委員の再任を承認いただきました。補正予算の主なものは、中学校のトイレ洋式化工事費、運動公園テニスコート増設のための測量設計費、学校統合基本計画策定に係る業務委託料、旧石井家住宅整備保存工事費、B&G体育館空調測量設計費などです。

また、一般質問は

- ① 中学校体育館の空調設置について
- ② フリースクールに通う児童生徒への給食費補助についての2件がありました。

① については、令和9年度中の設置を目標に準備を進める。  
 ② については、現在給食費補助対象の枠外にあるため補助は難しいが、交通費の補助など別の面から支援を行う。

という趣旨の答弁を行っています。今後迅速かつ確実に実現に向けた取組を進めていきます。

今回の議会を通して感じたことは、子どもたちの命や安全、将来につながる教育への町民の皆さんの関心が高いことです。教育に関してやるべきことは、無限大にあることを改めて認識しています。これでいいと安心するのではなく、どうしたら良くなっていくかを絶えず考えていかねばならないと思えました。

梅雨入りしました。天気は曇りがちでも、心は晴れやかに！



## 「気付いていますか？ 友達の SOS」

6月は熊本県全体の学校で取り組む、心のきずなを深める月間です。学校、学級の中で子どもたち一人一人のつながりを深め、いじめや差別を許さない風土づくりを進めていきます。

今年の標語は「気付けてる？ 笑顔で隠したあの子の気持ち」です。いじめや差別に苦しむ友達に対する自分の姿勢を問う言葉です。

先日、県教育委員会が公表した心のアンケート調査結果に「いじめを受けた子どもが、このことを誰かに相談しましたか。」という問いに「相談していない」と答えた児童が3割近く、生徒で2割を超える結果がありました。いじめを受けたら誰かに相談できる力をつけるとともに、相談したくてもできない子どもがいることも心にとめて、苦しむ子どもの周りの子どもたちが、真剣に受け止める、共に立ち向かう力等も身に付けなければならないと思いました。

南関町の小中学校では、6月から7月にかけて人権集会や子どもたち一人一人の現状を聞き取る教育相談を実施します。この機会に、心配なことがあれば話してほしいと願います。さらに、友達のことにも気づきがあれば伝えて欲しいです。ご家庭や地域の方も、気づきがあれば学校や教育員会にご相談ください。

## 今日の論語

子の曰く、「年四十にして悪まるるは、其れ終わらんのみ。」

先生が言われた、「年が四十歳になっても、人から憎まれるのではおしまいだろうね。」

当時四十歳は、人格が定まる時期とされていました。それまでに自分を確立し人と協調できない人は、社会で生きていくことが難しいと孔子は厳しく指摘しています。現代は、何歳ぐらいに当たるでしょうか。私は何歳で達することができるか、果たして達せるのか分かりませんが少しずつ前に進んでいきたいと思っています。